

農業機械士養成研修受講報告

フィールド科学系部門 生物生産技術班 増田果南

1. はじめに（目的等）

広島大学附属農場（西条ステーション）では、トレーラーやマニユアスプレッダー、ロールベアラーをトラクターによってけん引することで飼料作物の収穫等の業務を行なっている。これらの業務にあたるためにはけん引免許が必要となるため、広島県立農業技術大学校で行われている農業機械士養成研修を受講し、免許試験を受験した。

2. 期間・場所

期間：令和6年11月5日（火）～11月13日（水） ※土日を除く

場所：広島県立農業技術大学校、広島県自動車運転免許三次試験場（最終日）

3. 参加者等

技能講習 12名

免許試験 12名

4. 研修内容

1日目：オリエンテーション・技能講習（トレーラーけん引の基本運転法）

2日目～6日目：技能講習（トレーラーけん引の基本運転法）

7日目：運転技能試験

5. まとめと感想

技能講習ではトレーラーをけん引し、後退や方向転換を練習した。また、繰り返し、試験本番と同じルートでコースを走行することで、運転技能試験対策を行った。

トレーラーのけん引は、普通車と比較すると内輪差が大きく右左折時の脱輪を避けるためには大きく曲がらなければならない。また、方向転換時の後退では、普通車の運転時とは反対にハンドルを切らなければならない。作業機をけん引した状態での運転は、意識的な操作を心がける必要があると感じた。

実際の業務でさらに練習を重ね、運転技術を高めていきたい。また、常に安全運転を心がけ、事故のないように業務にあたりたい。